

IR report

第78期

中間決算のご報告

2012年4月1日～2012年9月30日



極東開業工業株式会社

証券コード:7226

トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2012年4月1日から2012年9月30日までの当社第78期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等による下支えの一方で、欧州財政金融不安をはじめとする海外経済の減速や円高の継続等により足踏み状態となり、景気は引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは業績の更なる向上と企業体質の一層の強化を目指し、諸施策を積極的に推進いたしました。

当社を取り巻く各事業の環境についてご説明いたしますと、主力の特装車事業につきましては、国内は震災復興や、減税効果等による需要の増加により堅調に推移しました。環境事業につきましては、各自治体における復興需要の動きが鈍く、比較的厳しい状況が続きました。不動産賃貸等事業につきましては、立体駐車装置の需要が引き続き低調に推移し、厳しい状況が継続しました。

当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は主力の特装車事業が増加したことにより6,646百万円(22.4%)増加して36,357百万円となりました。営業利益は売上高の増加に伴い、1,373百万円(178.9%)増加して2,140百万円、経常利益は1,500百万円(196.8%)増加して2,262百万円、四半期純利益は589百万円(79.3%)増加して1,333百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、我が国経済は東日本大震災の復興需要が一定の期間継続すると見込まれますが、消費税増税や円高、欧州信用不安および対中関係等のリスクが継続して顕在化しており、先行き不透明感は継続するものと思われま

主力の特装車等の今後の市場につきましては、国内市場は震災復興需要が下支えとなるものの、需要が一巡した後は、中長期的な視点では縮小していくものと見込まれます。海外市場は、新興国の旺盛な建設需要が見込まれますが、中国は市場経済の失速感の高まりや、悪化した対日感情の継続により厳しい状況が続くことが予想されます。

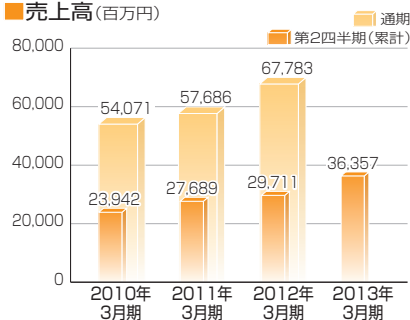
このような中、当社グループは、国内においては受注の確保を強力に推進する他、現地の市場動向を見極めた重点的かつ積極的な海外展開などの、企業価値向上に繋がる諸施策をグループ一丸となって進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

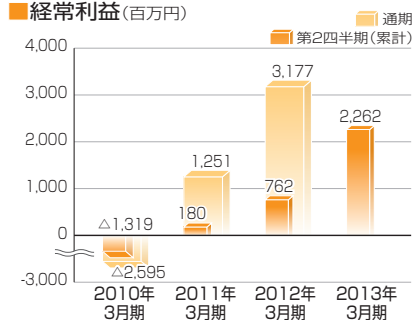
取締役社長 **峯谷高明**

連結業績ハイライト

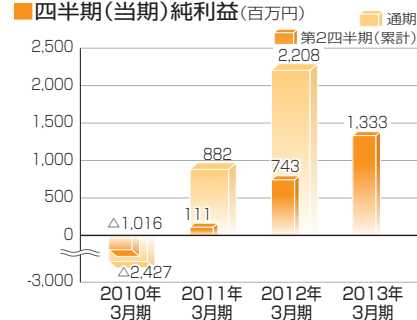
■売上高(百万円)



■経常利益(百万円)



■四半期(当期)純利益(百万円)



極東開発グループの海外事業

中国、インドに次ぐ第3の海外拠点

需要が拡大するインドネシアに生産・販売拠点設立

当社は、グループの将来の発展を図るため、主力の特装車事業において中長期的に需要が見込まれる地域をターゲットとした海外展開の強化を経営の最重要課題と位置づけていますが、このたびインドネシアにおいて新たに特装車の生産・販売拠点を設立しました。

経済発展が急速に進むインドネシアにおいて、中国・昆山工場、インド工場に次ぐグループ3番目の海外生産拠点となります。なお、インドネシアでの拠点の設立にあたっては、生産、販売において現地企業の協力を得ながら進める方法が最善と判断し、インドネシアの現地大手サリム財閥傘下の上場企業であるインドモービルグループと、両社で合併会社2社（製造合併会社、販売合併会社）を設立し、運営していきます。当合併会社では、インドネシアで石炭運搬およびインフラ整備等で今後大きな需要が見込まれる輸送・建設関連の特装車をターゲットとし、第一弾としてダンプトラックの生産と販売を2013年7月よりそれぞれ行う予定です。

当社では、今後も海外での事業展開に積極的に経営資源を投入し、極東開発グループの業績の拡大にグループ一丸となって努めてまいります。



調印式の様子

- (写真右) インドモービル社
取締役社長 JUSAK KERTOWIDJOJO氏
(写真左) 極東開発工業株式会社
取締役社長 筆谷 高明



●製造合併会社

商号: PT KYOKUTO ^{インドモビル}
INDOMOBIL
MANUFACTURING INDONESIA

所在地: ^{コタブキット}KOTA BUKIT ^{インダハ}INDAH 工業団地
(ジャカルタの東80km)

事業内容: ダンプトラックの製造

資本金: 11,000千米ドル(880百万円)

※ 1米ドル= 80円で換算

工場面積(土地): 約20,000m²

工場面積(建物): 約8,200m²

●販売合併会社

商号: PT KYOKUTO INDOMOBIL
DISTRIBUTOR INDONESIA

所在地: ジャカルタ市内・インドモビルビル
を予定

事業内容: ダンプトラックの販売ならびにアフ
ターサービス

資本金: 1,400千米ドル(112百万円)

※ 1米ドル= 80円で換算

インド工場は今年10月に操業スタート

稼働に向け最終調整を行っていたインド工場 (MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED: アンド



ラプラデシュ州 ビジャヤワダ) が、10月末に操業をスタートしました。当工場ではインフラ整備等で今後大きな需要が見込まれるインド市場向けに、ダンプトラックとミキサートラックの生産・販売を行ってまいります。

◀ミキサートラック
(インド仕様)



▶ダンプトラック
(インド仕様)



▲インド工場

新製品ニュース

世界最高クラスの性能を持つ新開発ポンプユニット搭載!
国内最大の吐出圧と最高クラスの吐出量を実現

ピストンクリート® PY135-26-H

昨今ニーズが高まっている、1台で標準的な「ブーム打設」から「高圧打設」「大容量打設」「長距離打設」までオールマイティーに仕事をこなす能力を備えたコンクリートポンプ車です。世界最高クラスの性能と、緻密な電子制御による大幅な低騒音化を実現した新開発の高圧大容量ポンプユニットは、国内最大



パワーゲート®のラインナップが充実!
より使いやすくスタイリッシュに

パワーゲート® V型プレスゲート

垂直昇降式テールゲートリフタ「パワーゲートV600/V800」向けに、画期的なプレス一体構造を採用し、スタイリッシュな外観や防錆性の向上を実現した新機種「V型プレスゲート」を追加しました。また、専用クッションゴムやワンタッチ式ゲートロック（左右連動式ロック）など便利な機能も標準装備しています。



◀パワーゲート
V型プレスゲート
(V600)

パワーゲート® Gシリーズ

後部格納式テールゲートリフタ「パワーゲートGシリーズ」をモデルチェンジし、地面との接地衝撃音や摩擦音の低減を実現

となる16.0MPa（8B仕様・高圧圧送時）の最大吐出圧と、135m³/h（9B仕様・標準圧送時）の最大吐出量を誇り、さらに使用頻度の高い中間作業能力域での扱いやすさも向上させました。さらに、取り回し性能のよい26mM型4段屈折ブームを、自動車排出ガス規制（ポスト新長期規制）対応のGVW22トンショートホイールベース車に搭載したことで、小規模から大規模まで、現場を問わず様々な打設作業に対応します。

する接地面樹脂ローラや、プラットフォーム裏面の溝をカバーし美観と清潔感を高めるフェイスライナーを装備して新発売しました。また、改良に併せ、2012年7月施行の突入防止装置規制対応の強化型リヤバンパーも装備しています。



2012 NEW 環境展

2012年5月22日(火)から25日(金)に東京ビッグサイトで開催された「2012NEW環境展」に出展しました。当社の最新の環境車両ならびに環境事業の実績、製品に関するパネルや破碎機の模型を展示することにより当社をPRすることができました。

出展内容

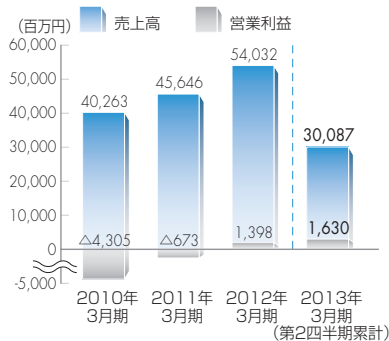
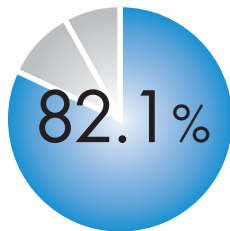
- 新型プレス式ごみ収集車「2トン プレスパック®」（電動式塵芥収集車「eパッカー®」仕様）
- 脱着ボデー車「4トン フックロール®」
- 環境事業の実績・製品紹介（パネル・模型展示）



セグメント別概況

◆ 特装車事業

売上構成比



国内普通トラック登録台数の推移



特装車事業につきましては、国内市場はエコカー補助金および減税等に加え、震災復興等に伴う車両購入・更新需要が増加したこと等により順調に推移した一方、海外は、円高の継続や9月以降の対中関係悪化などが影響し、比較的厳しい環境で推移しました。

このような状況のもと、当社は、受注活動の強力な推進による需要



4t スライド式フックロール®

の取り込みと共に、名古屋工場で再開した大型ダンプトラック生産ラインの整備など、生産力の確保にも併せて努めました。海外につきましては、インド工場 (MITHRA KYOKUTO SPECIAL PURPOSE VEHICLE COMPANY PRIVATE LIMITED: アンドラ・プラデシュ州 ビジャヤワダ) の稼動に向けた最終調整の他、インドネシアで合弁会社2社 (製造合弁会社、販売合弁会社) の設立準備を行いました。インドネシア工場の稼動は2013年7月を目標としています。

この結果、売上高は5,956百万円(24.7%)増加して30,087百万円となりました。営業利益は1,364百万円(513.2%)増加して1,630百万円となりました。



16kL積 石油タンクローリ



フラトップZero®

ADSS (電動油圧展開式シェルター)

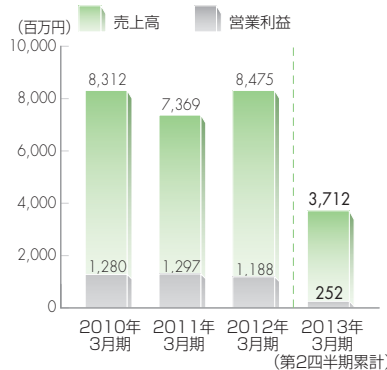
グループ会社である日本トレクスは、電動油圧展開式シェルター「ADSS」のプロトタイプを、2012年10月17日(水)から19日(金)に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2012」に出展いたしました。ADSSは約3分で電動展開できる、国際海上コンテナのISO規格に準拠した多用途の移動型シェルターです。今後は市場投入に向け、更なる改良を加え最適化を図ってまいります。



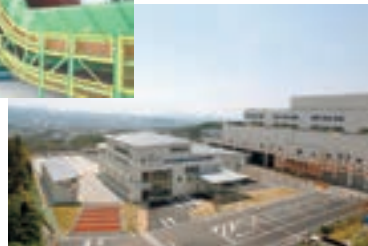
セグメント別概況

◆ 環境事業

売上構成比



破碎機（極東・トレマッシー®）
中国・昆山工場デモライン



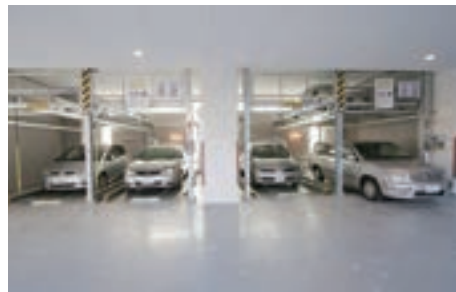
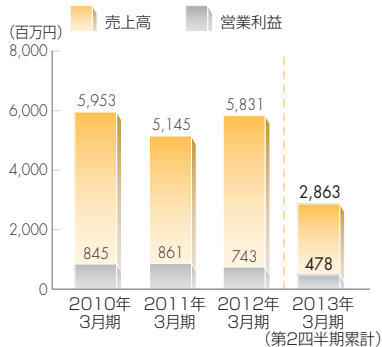
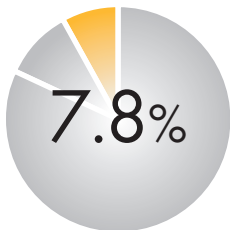
リサイクルプラザ（那覇市）

環境事業につきましては、国内では引き続きメンテナンス・運転受託およびプラント受注活動への注力と受注済案件の建設を進め、利益の確保に努めました。なお、2012年7月に、京都府宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町の3市3町からなる一部事務組合（特別地方公共団体）である城南衛生管理組合様より粗大ごみ処理施設を受注しました。海外においても、破碎機の中国における第1号機の設置作業および拡販を図りました。

この結果、売上高は528百万円（16.6%）増加して3,712百万円となりましたが、営業利益は固定費の増加によるコストアップにより、32百万円（11.2%）減少して252百万円となりました。

◆ 不動産賃貸等事業

売上構成比



機械式立体駐車装置 (レントウパズル[®]HS-22)



コインパーキング (P.ZONE[®])

不動産賃貸等事業につきましては、コインパーキング事業は利益率の向上により比較的順調に推移しました。立体駐車装置は厳しい市場環境が続いたものの、リニューアルおよびメンテナンス事業へ継続的に注力し、受注の確保に努めました。

この結果、売上高は204百万円（7.7%）増加して2,863百万円となりました。営業利益は67百万円（16.5%）増加して478百万円となりました。

連結財務諸表(日本基準)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2011年9月30日現在	当第2四半期 2012年9月30日現在	前 期 2012年3月31日現在
資産の部			
流動資産	44,590	47,258	49,483
固定資産	43,673	44,240	44,387
有形固定資産	34,510	35,255	35,349
無形固定資産	342	363	360
投資その他の資産	8,819	8,622	8,678
資産合計	88,264	91,499	93,871

科 目	前第2四半期 2011年9月30日現在	当第2四半期 2012年9月30日現在	前 期 2012年3月31日現在
負債の部			
流動負債	22,221	25,567	27,276
固定負債	12,613	10,053	11,474
負債合計	34,834	35,620	38,751
純資産の部			
株主資本	53,312	55,712	54,618
資本金	11,899	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,718	11,718
利益剰余金	31,838	34,239	33,144
自己株式	△ 2,145	△ 2,145	△ 2,145
その他の包括利益累計額	116	165	501
その他有価証券評価差額金	243	287	719
為替換算調整勘定	△ 126	△ 121	△ 218
純資産合計	53,429	55,878	55,119
負債純資産合計	88,264	91,499	93,871

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

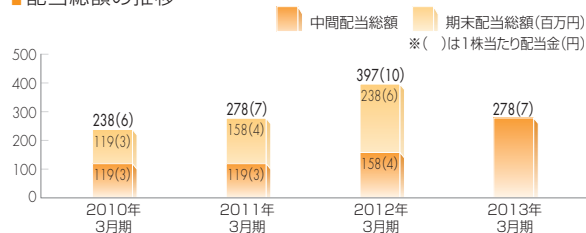
科 目	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)	前 期
	2011年4月01日から 2011年9月30日まで	2012年4月01日から 2012年9月30日まで	2011年4月01日から 2012年3月31日まで
売上高	29,711	36,357	67,783
売上原価	24,103	28,981	54,646
売上総利益	5,607	7,376	13,137
販売費及び一般管理費	4,840	5,235	10,180
営業利益	767	2,140	2,957
営業外収益	279	331	570
営業外費用	284	209	349
経常利益	762	2,262	3,177
特別利益	17	0	17
特別損失	137	58	227
税金等調整前四半期(当期)純利益	642	2,204	2,967
法人税等	△ 101	871	758
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	743	1,333	2,208
四半期(当期)純利益	743	1,333	2,208

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)	前 期
	2011年4月01日から 2011年9月30日まで	2012年4月01日から 2012年9月30日まで	2011年4月01日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894	701	1,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	20	△ 1,227	△ 2,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,388	△ 1,419	△ 1,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	△ 17	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	513	△ 1,962	△ 2,883
現金及び現金同等物の期首残高	13,058	10,175	13,058
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,572	8,212	10,175

■ 配当総額の推移



企業データ (2012年9月30日現在)

会社概要

■ 商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
■ 設 立	1955年6月1日
■ 資 本 金	11,899,867,400円
■ 従 業 員 数	連結2,161名 単独840名

役 員

代表取締役社長最高執行責任者	筆 谷 高 明
代表取締役専務 専務執行役員	中 井 一 喜
取締役 常務執行役員	高 島 義 典
取締役 常務執行役員	熊 澤 紀 博
取締役 常務執行役員	高 橋 和 也

取締役 執行役員	林 杉 米 西 中 則 堀 酒 近 加 植 岡 道 楠	篤 昌
取締役 執行役員	杉 本 田 川 柳 一	己 卓
取締役 執行役員	米 田 川 柳 一	郎 寿
常務執行役員	西 川 柳 一	男 昇
執行役員	中 西 利 健	也 弘
執行役員	堀 光 本 郁 治 定 友 太 守	宣 幾 郎 明 雄
執行役員	堀 本 井 藤 藤 山 本 上	
執行役員	酒 井 藤 藤 山 本 上	
執行役員	近 藤 藤 山 本 上	
執行役員	加 藤 藤 山 本 上	
常勤監査役	植 山 本 上	
監査役	岡 本 上	
社外監査役	道 上	
社外監査役	楠 守	

株式データ (2012年9月30日現在)

株式の状況

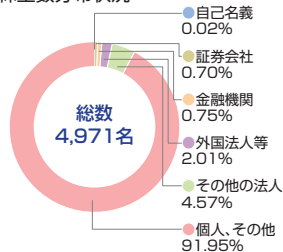
- 発行可能株式総数 170,950,672 株
- 発行済株式総数 42,737,668 株
- 株主数 4,971 名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	1,600	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,586	3.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託みなと銀行口)	1,498	3.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,489	3.48
極東開発共栄会	1,317	3.08
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.36
極東開発従業員持株会	958	2.24
宮原 幾男	887	2.07
シービーエヌワイデイエフエイインターナショナルキャップリビューポートフォリオ	849	1.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(トヨタ自動車口)	837	1.95

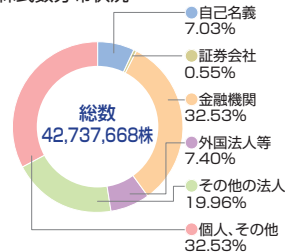
(注) 当社は自己株式を 3,005 千株 (7.03%) 保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式分布状況

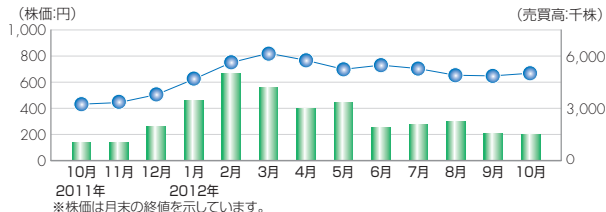
株主数分布状況



株式数分布状況



株価・売買高の推移



株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末 3月31日

中間 9月30日

公告方法 電子公告

当社ホームページにて掲載

(<http://www.kyokuto.com/>)

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502

大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

TEL 0120-094-777(通話料無料)

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

大阪証券取引所市場第一部

<ご注意>

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:kkkikaku@kyokuto.com